



令和3年度国立市市民表彰 地方自治功労



観光とは 光（その地の優れたもの）を 観ること



令和3年度国立市市民表彰 地方自治功労として表彰されました、関喜一氏は、令和3年5月に逝去されました。

ここでは、関氏のご功績を紹介させていただきます。

平成18年より、国立市観光まちづくり協会の立ち上げの一人であった関氏は、副会長に就任後、NPO法人化した平成20年より副理事長、会長、相談役を歴任されました。

国立市の魅力を紹介しているフリーペーパー『国立歩記』は、平成19年12月3日発行の第1号を皮切りに季刊で発行し、第50号まで続けられました。近年では、『POCKET ORCHESTRAL』を発行し、友好交流都市である北秋田市やルッパ市の魅力を発信し、都市間交流事業にも貢献していただきました。長年に亘り、地域振興に寄与していただいた功績により、令和3年度国立市市民表彰 地方自治功労として表彰いたしました。

関氏は、来街者の市内回遊性を高め、まちに賑わいをもたらすことを目的とされてきました。『観光とは光（その地の優れたもの）を観ること』という言葉を用い、周囲の方々に鼓舞され、国立市のシティプロモーションにご協力いただきました。



関 喜一

平成18年～平成20年	国立市観光まちづくり協会 副会長
平成20年～平成27年	NPO 法人国立市観光まちづくり協会 副理事長
平成27年～令和 元年	NPO 法人国立市観光まちづくり協会 会長
令和 元年～令和 3年	NPO 法人国立市観光まちづくり協会 相談役



▲国立歩記

くにたちの魅力を紹介したフリーペーパー



▲POCKET ORCHESTRAL

国立市の商店街の情報を伝えているフリーペーパー